

平成30年度第1回印西市史編さん委員会議事録

- 1 開催日時 平成30年5月11日（金）午後2時00分～午後3時00分
- 2 開催場所 印西市立中央公民館 講座室
- 3 出席者 五十嵐委員、中澤委員、鎗木委員、木村委員、村越委員、
榎委員、植村委員、宿城委員、大友委員
- 4 欠席者 小林委員
- 5 事務局 大木教育長、飯島生涯学習課長
小池木下交流の杜歴史資料センター所長、能勢主査、石川主査
- 6 傍聴者 0人（定員3名）
- 7 議題 （1）平成30年度事業計画について

委嘱書の交付

教育長あいさつ

役員選出

市史編さん委員会 委員長五十嵐委員、副委員長鎗木委員

印西の歴史編集委員会委員 木村委員、鎗木委員 を選出。

委員長あいさつ

議事録署名委員の選出

宿城委員を選出。

議 題

議事（1）平成30年度事業計画について

議 長： それでは議題（1）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：（会議資料により説明、『印西市史資料編近現代2』編集の進捗状況について
印西市史編さん専門委員近現代部会長に補足説明を依頼する）

議 長： 次に、近現代部会長、お願いします。

近現代部会長： ただいま事務局からお話がありましたように、会議資料5として掲載する資料をお出ししてあります。これでほぼ確定ですが、少し変わるところがあるかも知れません。表題の変更、枚数等、原稿確認時に変わることもございます。大体予定通り3月末までに刊行いたします。印西市としての自治体市史は初めてです。新しく地域が広がっていったということを意識し資料を発掘するということを心がけ、行政文書が中心になっております。トータルとして旧市村バランスよく出している結果になりました。このように数年をかけて色々と協議しながら資料選定をいたしました。最初のところにもありますように5つの項目で章を立てております。そして分野ごとにこの地

域として欠かせないだろうと思われることを取り上げました。内容は見ていただければと思います。

議長： ただいま事務局から事業計画について提案がありました。何か質問等がありましたらお願いいたします。

委員： 資料6 ページの新刊「印西の歴史第11号」について、有償で販売するということですが、いくらで販売しますか。

事務局： まだ販売の開始に至っておりませんが、一応印刷経費相当ということで、500円程度を予定しております。

委員： これまでも大体500円程度の販売ですか。

事務局： 500円程度です。一番安いので400円位がありました。ページ数との兼ね合いもあり500円くらいになると思います。

委員： はい。

議長： 他に何かございますか。

委員： 出版部数がホームページとかインターネット上に、たくさんPDFで載せていることがあると思いますが、こういうもののデータはPDFで印刷所から頂戴しているのでしょうか。仕様書にPDFでの納品をのせていますか

事務局： 今は仕様書の方にPDFによる納品は明記してございません。

委員： していない。

事務局： していないです。

委員： それでは、ぜひ、在庫が切れるということになった時のために、そういった準備をして置いた方がいいと思います。それはPDFを業者の方から貰うというだけではなくて、写真などをゆくゆくはネット場で公開するという利用許可です。持ち主から利用許可を取るときにも、ちょっと注意が必要だと思います。市史とかでも、大村市史では通史編も全部ネット上に載っています。カラーできれいです。だから学校教材として手元で先生が夜なべ仕事も勝手に出来てしまうという状況です。これからのことを考えるとゆくゆくはネットで公開できるように所有者との権利関係、業者からカラーのPDF提供等を計画的にやった方がいいと思うのです。それは印西市だけではありません。筆耕が近現代の2ですか、あれも資料集がネットで公開できれば利用者にとってはすごくいいのではないかなと思います。刊行されるのは500部ですから、ネット上に乗せられるような方向で考えておくことが重要だと思います。感想です。

議長： 今、提案がございました。私も今初めてこの提案を聞きましたので、もう少し検討してみたいと思いますが、いかがでしょうか。提案があれば、やった方がいいとは思いますが、金銭的問題等もございます。

委員： とりあえず、業者から頂戴するということは契約、仕様書の中に盛り込んでおけば貰えると思います。実際ホームページに出すとなると、所有者の関係等で注意が必要になってくると思います。

議長：　そういうことで、検討をお願いします。

事務局：　はい、前向きに検討して行きたいと思います。実際、校正段階等のやりとりは、PDFで業者とやり取りしておりますので、その辺のところはある程度可能ではないかと思います。またいろいろ教えていただきまして、掲載上の問題ですとか、そういった部分をご指摘いただければと思います。よろしくをお願いいたします。近現代2の編集に関しては、間に合うかどうかはつきりはしませんが、可能であれば検討して行きたいと思います。

委員：　とりあえずは内部利用でもいいと思います。先生たちが文章を作るときにテキストがあれば、そのまま資料集を切り張りして使ってということが出来ますから、すごく使い勝手がよくなります。

議長：　他に何かご質問、ご提案等ありませんか。無いようでしたら次にいきますが、その他ということで何か提案はありますか。

委員：　市史編さん講座で職員の方が行っていらっしゃる「木下河岸旧記を読む」というのは、刊行されているものなのですか。

事務局：　刊行した史料集をテキストに使っております。これまでに史料集の間違い等の指摘もいただいておりますので、その辺も含めて、これを機会に原本照合を行い、その史料集を正しながら読むという形で進めています。

議長：　この古文書を読むということではないですね。

事務局：　そうです。活字史料を読むということでやっております。

委員：　前も一度お話したことがあるんですが、以前この編さん委員会の方で木下交流の杜歴史資料センターの見学の機会があったようですが、私はその時に都合がつかなかったもので、可能であれば見学会を設けてもらいたい。

議長：　歴史資料センターの見学

委員：　はい

議長：　いつでも時間を見つけて行ってください。

委員：　事前にお申し込みが必要ですよね。

事務局：　それは団体むけで、説明が必要な場合です。基本的には9時から5時まで、月曜と祝日以外開館していますので、自由に展示室は見学できます。

委員：　わかりました。

事務局：　以前の資料整理作業所の見学では、連絡を受けてからという形で、民具の展示とかを見ていただいていたのですが、歴史資料センターでは通常の博物館等と同様な運営をしております。

議長：　他に何かございますか。

委員：　印西の歴史第10号発刊の前に講演会がありまして、私も参加してお話を聞いているんですが、今度はそれを読みまして、私はこの木下とは何なのかと考えて見たときに、ただ物を知っているだけじゃないんだと、やはり市民が日頃から話を聞いてくれる当事者意識が大切だと思うんですよ。そういう面でああいう企画は非常によかったのではないかと思います。

議長： ご意見ありませんか。何か郷土の歴史に対し、市民の目を向けさせるような方向というのものも必要ではないかと思います。例えば、印西の文化財の本が発行されましたが、「ただ売ってます」ということではなく、市の広報に毎月少し載せてまとめたものは、「ここにあります」と知らせる。何か内容を一部市民に公開するような方策をとるといいのではないかと思います。私も印西新報や千葉ニュータウン新聞に書かせてもらいましたが、内容を紹介すると、「これがまとまって出たのか」と興味が出てきてくれて、お陰様で1,000部くらい提供できました。市で出している印西の歴史よりよほど売れると思います。広報で小さくていいので情報を提供すると、もう少し興味がわくのではないかと思います。滝野を見ていると人がどんどん入ってくる。やはり、情報を知りたいという人も結構いるらしいです。そういうPRというか、企画を事務局で検討していただけないでしょうか。

事務局： ご意見は今年度ないし次年度事業のなかで検討してみたいと思いますが、市史の販売という部分ではなかなか難しいのではないかと思います。今回発刊時期になりますので、そういった事業と絡めた形で実施していくようなことも検討して見たいと思います。

議長： 写真コンクールの印西の名所、写真についてですが、もう少し説明を文化財の方でやってもらうようにすると思います。ただあそこは美しいところにあるではなく、例えば「結縁寺のお寺に彼岸花がきれいに咲いている」ということだけではなく、もう少し「結縁寺のお寺はこう由緒がある」のだということを書けると、歴史に対する関心、地方の歴史への関心もでてくると思います。

委員： 私の住まいが牛久市なんですが、牛久市の広報誌には必ず文化財コーナーがひとつあります。それは指定文化財だけではなくて、指定されていない文化財的なものも毎回一つ、小さいコーナーですけれども、写真で説明があります。やはりそういうのを見ると、一般の方もそういうのがあるのだなとか、文化財を大事にしなければとか思い、文化財に親しみ易くなるのではないかと思います。広報は別の部署になるのでいろいろと難しい問題もあるかと思いますが、出来たらいいなと思います。

議長： 生涯学習課長がいらっしゃるので、是非いろいろご検討願いたいと思います。

課長： 確かに広報は、秘書広報課で発行しています。連載もののコラム等に関しては、やはり広報担当課と調整していかなければならないと思います。こちらから連載物で史跡名所を紹介したいと提案して、広報レポーターという方がいらっしゃいますので、そちらの方にレポートしてもらうような形で記事を作ってもらえないかの依頼は出来ると思います。それは働きかけをさせていただければと思っています。

議長： よろしく願いいたします。何か他にありませんか。委員には他の市史な

どもやっぺいらっしやる方もいるようですが、何かそちらの方から見て感想はございませんか。

委員： 今のお話のようなことはいいのではないかと思います。あと、市のホームページで紹介するというのもいいと思います。よく市のホームページの中で、市の歴史を取り上げて紹介しているのは目にします。ああいうのもいいのではないかと思います。

委員： 来年度の計画の中で刊行したことをPRするための何かをしていただきたい。市史そのものをいっぱい話すということよりも、歴史読本の時にもしたような広報活動みたいな、「やりましたよ」というのを。大きな本ですのになかなか手にしたいと思わないような場合、手にしてみたいなと思うような気持ちになるために、講演会等、何か来年度に企画していただければと思います。それもひとつの方法ではないかと思っています。

事務局： いろいろいただいたご意見をもとに検討していければと思います。委員からお話がありましたが、前回の歴史読本のときには歴史関係の団体の方にご相談して、年間事業のかたちでその本を基にした講座の形で事業を組んでいたたりもしました。そうした販売の目的、PRも兼ねて事業を実施したということもございますので、今後ホームページ等も含めてPRの方も検討していきたいと思います。

議長： 何かありませんか。本日の会議次第のなかに、その他という項目がありますが、何かその他ありますか。

事務局： 事務局の方からは特にないですが、このところ編さん委員会を年2度開催という形でさせていただいておりますけれども、今年度は刊行がございしますので、一度印刷原稿が整った段階で、みなさんに全体的、最終的なところを確認していただきたいと思います。そのおり会議を開催させていただきののでよろしくお願いいたします。

委員： すいません。遅れてきまして。事業報告で例の新規文書ですが、何か話があったんですか。

事務局： その関係はありません。

委員： してないんですか。私から説明するのも変ですから、事務局の方から説明していただいた方がよろしいではありませんか。

議長： 委員説明をしてください。

委員： 私ですか。その古文書につきましては、ご本家から「こういう資料があるよ」ということで、目録等で活用してもらいたいとの申し出がありましたので、小池所長と協働して、昨年度本埜公民館の一室に資料の一部を搬入し、今年度から、第一回目は来週始めますけれども、そろそろ運び込んだ文書をまずは目録化していこうということを皆さんにお伝えしたいと思いました。かなり点数があるものですから何時までかかるかわかりませんが、少しずつ進めて行こうと思います。よろしいでしょうか。

事務局： 事業計画の方では、具体的な項目として載せておりませんでした。近現代部会なり近世部会の事業で資料調査等に皆さん出ているような形と考えております。委員の方からご紹介いただき、木下の戸長などを勤めたお宅がございまして、3月にお宅を訪問し史料を蔵から取り上げを行う調査をしております。2階建ての蔵いっぱいには史料があるような状態ですので、かなりの分量があり、一回で全部取り上げるという訳には行きませんでした。それに向けての史料調査の体制を整えることも難しく、また資料集の編集を行う年だということもございまして、なかなか事務局の方で時間の確保が難しく、また予算の確保も難しいというところで、委員に座長になっていただく形で調査会のようなものをボランティア形式で立ち上げようと今始めているところです。来週あたりからどういう形でやっていけるのか具体的な方法を検討しつつ、かつメンバーを集めながら進めて行こうという状況です。なお、史料は明治期の行政資料並びにその家の経営関係が主な内容で、なかなかいい史料群になるのかと思います。今回は近現代編2の刊行ですが、その次に予定している近現代編1の明治～戦前までの資料集を作成するなかでは活用できる史料群になるのではないかと推量しているところです。実際、整理作業がその編集に間に合うかわかりませんが、先生方にも加わっていただきながら、その史料が活用できるような形で実施していければと思います。その辺の進捗があれば、またご報告はさせていただきたいと思います。

議長： ありがとうございます。他に何かございせんか。それでは無いようでございますので、この辺で会を閉じたいと思います。どうもご苦労様でした。

平成30年第1回印西市史編さん委員会の議事録は事実と相違ないので、これを承認する。

平成30年 9月21日

印西市史編さん委員会

議事録署名委員 宿城 高興 印